

第39回 三重県中南勢地区 春季大会

2023年3月26日(日) 5校目(15..30開演)

津市白山総合センターしらさぎホール

第6稿 3月12日バージョン

ジャステイス仮面

1

山田淳也・作

三重高校演劇部・潤色

上演団体 三重高校演劇部

登場人物

サッチ

ぱつつん

今別府

アケミ

1 オープニング

リズムカルな音楽

青いライト

舞台は教室 4人が現れる。

日常を感じさせる動き

みんなで手拍子。

サッチ 七時

ぱつつん 朝七時 目覚まし時計

今別府 洗面器

アケミ 朝ごはん

サッチ 目玉焼き

ぱつつん トースト

今別府 のりたま

アケミ 味噌汁

サッチ 八時 多忙ののち登校
ぱつつん 自転車爆速二十分
今別府 信号合計五個の道
アケミ 殺人的坂道連鎖
サッチ カラオケパブ看板
全員 鉄塔乱立住宅街
今別府 ギリギリ到着自転車置き場
アケミ 有酸素運動階段上り
サッチ チャイムと同時に教室到着
ぱつつん 窓辺の級友笑顔でお迎え
今別府 始まるユウウツ六限授業
アケミ 英語
サッチ 数一
ぱつつん 現代文
今別府 物理
アケミ 倫理
今別府 ホームルーム
アケミ 放課後残らず 音速帰宅
サッチ 周りを気にせず加速度上昇
ぱつつん 帰宅と同時にソファへダイブ
今別府 夕飯サンマで家猫歓喜
アケミ 宿題数一半ページ
サッチ 答えを写して入浴準備

音楽鳴って

全員 お風呂が焚けました

ぱつつん カラスの行水 体温上昇

今別府 上がれば瞬時に就寝モード

アケミ 歯磨きをして

ぱつつん 部屋に入って

今別府 布団をかぶる

サッチ そして私は寝た

全員 寝た

サッチ けれどもなんだか眠れない 何だかあいつの顔が思い浮かんでくる

全員 あいつ？

サッチ ぶかぶかの学ラン来てさ

全員 はいはい

サッチ 宇宙人みたいなマスクしてさ

全員 はいはい

サッチ 弱いものを救って何も言わずに去っていく

全員 そいつ誰？

サッチ そいつはさ

全員 そいつは？

サッチ そいつはさあっ

全員 そいつは？

サッチ ……ジャステイス仮面

全員 ジャステイス仮面？

サッチ あいつは言った

全員 何を？

みんなは騒ぎ出す

サッチ みろ!! 隕石が降ってくる!!

音楽

そのまま座ったりはけたりする。

2 教室

ぱつつんとアケミが教室にいる。

ぱつつん もうあの日からさみんなパニックになっちゃってさ

アケミ そうそう ウチんとこもそんな感じ

ぱつつん 親も学校行くなって止めちゃってね

アケミ てか今日も人少なすぎでしょ

ぱつつん 何で学校あんのって感じだよ

アケミ ほんとそれな

二人 卍の極みー

ぱつつん はい決まったー
アケミ うちらグループ最強すぎ

サッチが教室に入ってくる

サッチ おはよー

二人は勢いよく立ち上がってサッチに向かって駆け出す

二人 グッもーにんっサッチ!!

アケミ 遅いじゃん

サッチ ぱつつん アケミ 来てたんだけ…

ぱつつん あたぼうよっ このまま無遅刻無欠席ゴールデン皆勤賞を突っ走るぜ

アケミ うちらぱつつんについていくのでへとへと

サッチ ぱつつんは永久電池だからね 無理しないほうがいいよ

ぱつつん 俺だってオロナミンCを飲みたい夜はある

アケミ テストの前日やん

ぱつつん ばれたか

二人 ぎやはははは

二人が笑っている間にサッチは机に

ぱつつん それよりさよく来れたなサッチ お前んとこの近所だろ

アケミ うちも近所だよ やばいよねあれ

二人 通り魔殺人事件

ぱつつん 朝まで放置されてたらしいぜ

アケミ 地面に引き摺られた跡があったって捨てる途中だったのかな

ぱつつん ああ怖えよなあ

サッチ みんな大騒ぎだよね なんか人少ないし

ぱつつん まあしかたねえよな 犯人まだ逃げてるっぽいし

アケミ 普通もう遠くへ逃げてるよね

サッチ そうだといんだけどね

ぱつつん あそうだ 人少ないから今日は自習だつて

サッチ えー？せつかく来たのに

アケミ そうなんよ うちら超暇だったつてわけよ

ぱつつん こいつ天井のひじきの数数えてたんだぜ

アケミ ちょっそれは言わない約束

サッチ でもほんとやることないよね てか来てるの私達だけ？

ぱつつん いやもう一人

教室に今別府が入ってくる

独特な動き謎のポーズ サッチたちはそれを眺めている。

サッチ 今別府も来てたんだ

今別府 ま、ま、まあ

アケミ 今別府もまじめだねえ こんな日に来るなんて

今別府 フ、フ、普通じゃない？

ぱつつん 俺が一番乗りじゃねとか思ってたらいいつがいたんだよ

アケミ 早く来た人が強いわけじゃないんだよぱつつん

ぱつつん え マジで？

サッチ 小学校の頃のルールを引きずりすぎだよ

ぱつつん ま、いつでも心は小学生なんですわ

サッチ いい加減高校生になろう

アケミ いい？どんぐり集めても強くなれないんだよ？

サッチ 白線から落ちてもマグマではないんだよ？

ぱつつん うわわわ聞きたくない聞きたくない でもどんぐりの数はステータス！

今別府 今、自習でしょ！

三人は顔を見合わせる

ぱつつん わりーわりーまあそうだな

アケミ じゃあやりますか

サッチ サボって帰ってもいいような気がするけどね

それぞれが席につく しばらく勉強

ぱつつんがいきなり立ち上がる

ぱつつん 飽きた!!

サッチ 早すぎるよ集中力皆無じゃん

ぱつつん もうじつとしてられん！ アケミ 学校中の窓ガラスを粉々にしに行くぞ！

サッチ だめだよ！アケミも止めてよ！

アケミ おいぱつつん！

サッチ 生徒指導だよ留年だよ留年したらもう一回二年生だよ。それでもいいの！？

アケミ 忘れ物（バットを手渡す）

二人 アデュー

教室から出ていく

サッチ 本当に割らないでよー もうあの二人は

サッチは机に戻って勉強を始める

3 サッチと今別府

気付かぬうちにそろーっと今別府が近づいてくる

サッチ カバンから何か取り出すために横を向く

それを見て今別府は瞬時に引き下がる。そしてまた近づいてを繰り返す

ついにはサッチが教科書を取るために席を立つと真後ろに立っている今別府に気付き驚く

サッチ・今別府 うわあああ

サッチ な、何かな今別府

今別府 聞きたいことがあって

サッチ ん？なに？

今別府 何で今日学校来たの？

サッチ 何でって まあ…普通に

今別府 普通に？

サッチ 学校来るもんだし

今別府 ……そう

ガッシャーんと音がする

サッチ うわやっちゃったよ

4 ジャステイス仮面

どたどたとぱつつんとアケミが入ってくる

サッチ ちよつとぱつつんダメじゃん！

ぱつつん 俺らじゃない！ほんとだよ

アケミ お願い信じて？ウチら何にも悪くないもん

サッチ じゃあさっきの音は？

ぱつつん 蝶々がいたからそれを追っかけて廊下走ってたらさ

アケミ ビーカー運んでた森下先生が驚いてビーカーひっくり返しちやっただよ！

ぱつつん だから俺たちなんにも悪くない

サッチ いや悪いよ！バット持ってたら怖いもん！

アケミ　そしたら森下先生怒っちゃって　早く教室戻れってさ
ぱつつん　社会は理不尽だな
サッチ　むしろかなり優しくくない？
アケミ　じゃあおとなしく自習しとくか？ぱつつん
ぱつつん　え、いやだなんか話しよ
アケミ　なに話す？
サッチ　二人とも：
ぱつつん　あつ　そういやホットな話題がもう一個あんじゃない
アケミ　なるほど確かに
サッチ　なに？
ぱつつん　あれだよあれ
サッチ　だからなによ
アケミ　ジャステイス仮面!!
サッチ　ジャステイス仮面？何それ
ぱつつん　え、知らないのサッチ
アケミ　マジあり得ないんですけどー
ぱつつん　それなー
二人　卍祭り
ぱつつん　はいまた決まったー
アケミ　うちら最強伝説じゃね
サッチ　ちょっと！結局何なのそれ
ぱつつん　その正体は謎に包まれている

ぱつつんとアケミは芝居がかっている

アケミ ブツカブカの学ランを身にまとい

ぱつつん 宇宙人のようなマスクを着けて

アケミ 今日も正義を執行する

ぱつつん 悪魔使いともガチ宇宙人とも超能力者ともうわさされる彼こそが

アケミ そう！ジャスティス仮面！

間

サッチ きつしよ…

ぱつつん サッチの毒舌来ましたよこれ

アケミ ジャスティスカワイそうミ

サッチ それでその変態さんがどうしたのよ

ぱつつん ほんとに知らねえの？ 最近ネットで話題なのにー

アケミ いじめっ子を次々変なパワーで投げ倒すんだって

サッチ すごいじゃん

ぱつつん だろ？正義のヒーローなんだよジャスティス仮面はさ

アケミ 殺人犯も倒してくれたらいいのにねー

サッチ …そうだね

ぱつつん そうだ 暇だからみんなでジャスティス仮面の正体を捜査しようぜ

アケミ そんでさ倒してもらえばいいじゃん

アケミ 賛セー

サッチ 急だなあ

アケミ いいじゃんいいじゃん楽しそうじゃん

今別府が机をバンして立ち上がる 変な空気が流れる

ぱつつん もしかして お前も捜査したい？

サッチ 流れるに違うでしょ！

しばらくの間 今別府はもじもじしながら出ていく

アケミ トイレかいっ！

5 今別府の話

ぱつつん 俺あいつだけは読めないんだよなー

サッチ 感情が分かり辛いよね

アケミ ウチあいつと中学同じだから知ってるよ

サッチ そうだったんだ

アケミ いつも先輩にパシラされてた

ぱつつん あーなんか分かるなそんな感じ

アケミ 三年になってからは後輩にもパシラされてた

サッチ そんなことあるに

ぱつつん あーなんか分かるなそんな感じ

サッチ さすがにそこまで分かんないでしょ

アケミ それでまたよくいじめられてたのよ

サッチ どのくらい？

アケミ そりゃひどかったよ 校舎裏連れてかれて、これで これよ（パンチキックのジェスチャー）

ぱつつん きつついなー

アケミ ひどいときなんかパリスやられてたからね

サッチ 何それ？どんな奴？

ぱつつん 想像できない

アケミ じゃちょっとやるかパリス ぱつつん ちょい

〔手招きしてぱつつんを真ん中に呼ぶ〕

アケミ サッチはそっち側から引っ張って

サッチ え？（と言いながら載っていく）

ぱつつん ちょ、ちょっとたんま！

アケミ せえの

両側から引っ張る

ぱつつん いてててて！放して放して

教室に今別府が戻ってくる

今別府 はっ修羅場っ！

ぱつつん いや待って違うんだよ！

アケミ ちよっとぱつつん暴れないですよ

サッチ 今いいとこだったのに

今別府 ……何系の修羅場？

ぱつつん そもそも修羅場じゃないんだって！

今別府 じゃあなに？

ぱつつん それはさ

ぱつつんが言いかけたので二人は口を押さえて止める

サッチ 本人に言うのはありえないでしょ？

アケミ ちよっとは脳みそ使いんしゃい

手を放す

ぱつつん えーと これはさ 修羅場じゃなくて

今別府 じゃなくて？

ぱつつん ……修羅場？

アケミ ちげえよ！

サッチ 違うでしょ？

両方向から腕を引っ張られる

ぱつつん あいたたたた あ、助けて今別府！

今別府 幸せだね

ぱつつん どこがだよ！ あうっ

二人は手を緩める

アケミ このくらいにしといてやるわ

ぱつつん 世界って理不尽なんだな

アケミ そんなことよりジャスティス仮面の捜査するんでしょ

サッチ さっさと始めよう

ぱつつん お前ら準備だ!!オー

3人 オー!!

サッチ遅れて オーのポーズ

6 捜査開始

ホワイトボードを持ってきて前の席に見えるようにする

ぱつつん 前に立って偉そうにしている

ぱつつん

ただいまよりここを急速な地球温暖化、大陸浸水、超砂漠化現象、小惑星衝突予言ひいては原口市で起こった悲惨な通り魔殺人事件、またまたひいてはジャスティス仮面捜査の臨時対策本部とす

る。

アケミがあほみたいに拍手

それを見たサッチも拍手 今別府はなにもしない

アケミ たいちよー！

ぱつつん なんだアケミ隊員

アケミ まずは似顔絵を描いたらいいと思います

ぱつつん オイオイさっそく天才現る？

アケミ でへへへへ

ぱつつんはホワイトボードにジャステイス仮面の似顔絵を描く

サッチ それでほかの情報は？

ぱつつん ……ない

サッチ 終わったじゃん！

アケミ ままま 焦らない ウチにはあるんだな 情報が

ぱつつん ほんとか！でかした

アケミ テスト期間を使ってここ最近の目撃証言をリストにまとめました

サッチ 勉強しなよ！

ぱつつん いいぞアケミ そのまま突っ走れ！

ぱつつん、アケミ チェーンジ！

アケミが立ち上がり、ぱつつんが席に座る

アケミが絵を描く(過去の演劇部員男子の顔写真を貼る、でいいかも)

アケミ 彼はクレソン第一高校二年真島良平君です

サッチ クレソン?なにそれ そんな学校あったっけ?

ぱつつん サッチ 話に集中したいから質問は後にして

サッチ え、あ、ごめん

アケミ 彼はある日、先生のことをお母さんと呼んでしまい、それがきっかけ いじめが始まりました

サッチ その間違いは小学校までじゃない?

ぱつつん あっさり始まったな

アケミ 6月25日、その日も彼は校舎裏に連れていかれ、殴るけるのいじめを受けていました

サッチ かわいそう

アケミ・ぱつつん ジャステイーーース!

サッチと今別府びっくりして

サッチ え、何

アケミ その声が聞こえた次の瞬間にはいじめっ子たちは木っ端みじん子

ぱつつん かつこいい!

アケミ ほかにもあります クレソン第二高城之内幸助

クレソン第三高森下直哉 クレソン第四高山田おさむ

サッチ またクレソン出たよ 第何まであるのこれ

ぱつつん サッチ！ 頼むからさあ
サッチ そんなに聞きたい？この話
アケミ ここからが一番大切です

突然今別府が立ち上がる

今別府 原口駅周辺区域

三人は驚く

サッチ 今別府？知ってんの？

アケミ その通り！ これらの事件はすべて原口駅周辺で起こっています

ぱつつん サッチのうちの近くじゃん

今別府 そ、そしてそこでは痕跡が発見されている

アケミ そう、それがこれだ！

アケミはカバンから何かを取り出し出てくる

アケミ じゃん！

サッチ なにこれ 袋？

アケミ どんぐり〜!! ☒

7 踊る捜査線

みんなはゆっくりとぱつつんのほうを向く

アケミ お前だろ！

ぱつつん おれ！

アケミとサッチと今別府 ぱつつんを追いかける
ぱつつん逃げる 机の間を逃げる

アケミ 堪忍しろ このジャスティス仮面が！

ぱつつん 俺じゃないって！

サッチ どんぐりなんてぱつつんしかいないじゃん

ぱつつん 確かに好きだけどさっ！ おい今別府お前もなんか言ってくれよ

今別府 …（あえて何も言わない）

ぱつつん おいてめえ！

アケミ 往生際が悪い

アケミ、カバンから何か取り出す

アケミ ぱつつん！ヤングドーナツ！

ぱつつん あっヤングドーナツだ！ぴよんぴよん！

二人にがっしり捕まえられる

ぱつつん しまった！

アケミ かかったな！ばかめ

サッチ ほんとに心配になるレベルだよこれは

アケミ 今別府！私のカバンからロープ持ってきて！

今別府、アケミのカバンからロープ取り出し、アケミに渡す。

サッチ 何でそんなもん持ってるの！

アケミ おらっ

ぱつつんをぐるぐる巻きに

ぱつつんはサッチにヤングドーナツを与えられている

サッチ おとなしくなった

アケミ 泣きながら食ってやがる

サッチ それでどうしてジャスティス仮面してたの？

ぱつつんは首をぶんぶん横に振る

アケミ 正直に言わんと こうやで！

ロープを締め上げる

アケミ どうよ

ぱつつん 新しい世界が見えた

サッチ 見えなくていいから！

ぱつつん も、もつとやってくれ

サッチ・アケミ えっ？

ぱつつんが立ち上がり 二人を追いかけてまわす

サッチ・アケミ 来るな気持ち悪い！

二人は悲鳴を上げて逃げ回る

いつしか楽しい追いかけてっこになっていた

みんなは疲れ果てて倒れこむ

サッチ 私たち何やってんの

アケミ 縄で縛られた男と追いかけてっこ

サッチ ……マジで？

アケミ 現実から目を背けちゃだめよサッチ

サッチ そんな強さは私にはない

ぱつつんは立ち上がる

ぱつつん 喉乾いたからジュース買ってくるわ じゃ！

ぱつつん 走り去る

サッチ いや待って

アケミ 聞こえてない……

間

8 アケミとサッチ

サッチ やっぱ、ぱつつんじゃないよね

アケミ なにが？

サッチ ジャスティス仮面

アケミ それね

サッチ アケミが言い出したんでしょ

アケミ そうだっけ

サッチ そうだよ

アケミ あいつは優しいけど…考えて優しいやつじゃないもん

サッチ 二人はいつから一緒にいるんだっけ

アケミ 高校に入学してから！まあ、馬が合うっていうかんじ？

サッチ 混ぜるな危険ってやつか

アケミ 有毒物質生まれるからね

サッチ 私はちょっと心配

アケミ 有毒物質？

サッチ 違うよ 二人のことが

アケミ 馬鹿すぎて？

サッチ そうじゃないよ

アケミ ……なんかサッチ きょう元気くない？

サッチ そう見える？

アケミ うん うちもそう ずーっとそう

サッチ いつも明るいの？

間

アケミ ま、そのことはいいじゃん ぱつつんじゃないとしたら誰なんだろうーね

サッチ もう別に探さなくてもいいでしょー

廊下を走ってくるぱつつん

ぱつつん おーい！二人ともー！

サッチ どうしたの？何かあったの？

ぱつつん これほどいて！買えない！

サッチ ……気付かなかったの？

アケミ ホント馬鹿だなあ

9 殺人事件の真相

外でパトカーのサイレンの音 みんなは窓を見る
+ 不安を煽る様な鐘〇サイレンを少し

サッチ ……まただ

アケミ 最近多いね

ぱつつん ……もうダメなのかな

アケミ ……やなこと言わないでよ

沈黙

サッチ「ゴンドラの唄」一番を歌いだす。

皆、合唱する。

ぱつつん やっぱいいね この歌。

アケミ (サッチに) どうしたの? 急に歌いだして

サッチその場にうずくまって泣き始める

アケミとぱつつん寄っていく

アケミ どうしたの?

サッチ いや、ごめん これで終わりなのかなと思って

ぱつつん ……そんなわけないじゃん

アケミ ……何言ってるの

サッチ ……あの子

ぱつつん どうしたん

数秒の沈黙ののち サッチが話し始める

サッチ 殺されたの 私のお母さん

沈黙

サッチ 昨夜未明 原口団地入口付近で背中から腹部にサバイバルナイフ貫通

それによる出血多量とショック症状で死亡

全員

：

サッチ 昨夜未明 原口団地入口付近で背中から腹部にサバイバルナイフ貫通

それによる出血多量とショック症状で死亡

全員

：

サッチ 昨夜未明原口団地付近：

今別府 もういいよっ！

ぱつつんとアケミはける 照明サッチと今別府を囲む

サッチはその場に泣き崩れる

今別府 ……もういいよ

サッチ よくないよ なんてなの？何でお母さんなの？おかしいよ

おかしいよね誰がやったの 何でつかまんないのなんてなの！ねえ！

今別府 ……なんてだろうね

サッチ お母さんいつもご飯作ってくれた

今別府 うん

サッチ 仕事で忙しいのに弁当持たせてくれた

今別府 うん

サッチ 仕事の愚痴 私には言わなかった

今別府 うん

サッチ 笑ったらえくぼできた

今別府 うん

サッチ 化粧が濃かった

今別府 うん

サッチ すごく音痴だった

今別府 うん

サッチ でも！いつも歌ってた！

今別府 ……うん

サッチ なんてなの 何でこんなことするの ひどいじゃん

今別府は仮面を取り出しかぶる

今別府 何でだと思っ？

サッチ 知らないっ！

沈黙

サツチ やっぱり 今別府がジャスティス仮面なんだ

今別府 そうだ

サツチ いつから？

今別府 ある日突然

サツチ じゃあさ

今別府 なに？

サツチ お母さんを殺したやつを殺してよ。

今別府 なんで俺にいうの？

サツチ だってジャスティス仮面なんでしょう 正義のヒーローなんでしょう？

今別府 そうかもしれないし そうじゃないかもしれない

サツチ だったら教えてよ この気持ちは正義なの？

今別府 ……

サツチ ねえ これはダメな気持ちなの？お母さんを殺したやつを殺してやりたいってのは

今別府 ……

サツチ ……教えてよ 何であたしだけこんなひどい目に合うの

サツチ みんなずるいよ ずるいずるい！

今別府 考えろ

サツチ え？

今別府 そんなこと自分で考えろ

サツチ いやだよ つらいよおお！

時間が巻き戻る サッチは扉の向こうへ
ジャステイス仮面はそこに残る

二人が教室でしゃべっている最初のシーンが再現され、そこにサッチが入ってくる

サッチ
おはよー

二人は勢いよく立ち上がってサッチに向かって駆け出す

二人
グッモーにんっサッチ!!

アケミ
遅いじゃんサッチ

サッチ
ぱっつん アケミ 来てたんだ

ぱっつん
あたぼうよっ このまま無遅刻無欠席ゴールデン皆勤賞を突っ走るぜ

アケミ
うちはぱっつんについていくのでへとへと

サッチ
ぱっつんは永久電池だからね 無理しないほうがいいよ

ぱっつん
俺だってオロナミン[®]を飲みたい夜はある

アケミ
テストの前日やん

ぱっつん
ばれたか

二人
ぎやはははは

二人が笑っている間にサッチは机に

ぱつつん それよりさ よく来れたなサッチ お前んとこの近所だろ

アケミ あれだよあれ

二人 通り魔殺人事件

ぱつつん 朝まで放置されてたらしいぜ

アケミ 地面に引き摺られた跡があったって 捨てる途中だったのかな

今別府 午後十時十五分 団地敷周辺で死亡

サッチ え？

沈黙のちまた会話が始まる

ぱつつん その正体はなぞに包まれている

芝居がかっている

アケミ ブツカブカの学ランを身にまとい

ぱつつん 宇宙人のようなマスクを着けて

アケミ 今日も正義を執行する

ぱつつん 悪魔使いともガチ宇宙人とも超能力者ともうわさされる彼こそが

アケミ そう！ジャスティス仮面！

沈黙

サッチ え、なんかキモい

ぱつつん サッチの毒舌来ましたよこれ

アケミ ああかわいそう

サッチ それでその変態さんがどうしたのよ

ぱつつん ほんとに知らねえの？ 最近ネットでも話題なのにー

アケミ いじめっ子を次々変なパワーで投げ倒してくんだって

サッチ すごいじゃん

ぱつつん だろ？正義のヒーローなんだよジャスティス仮面はさ

アケミ 殺人犯も倒してくれたらいいのにねー

サッチ ……そうだね

ぱつつん そうだ 暇なんだからみんなでジャスティス仮面の正体を捜査しよう

そんでさ倒してもらえばいいじゃん

今別府 ジャスティス仮面は俺だ

サッチ は？

今別府 はいじゃあ配りますね

今別府はカバンからマスクを取り出し渡ししていく

みんなマスクをかぶる

11 告白

今別府 では質問を始めます

皆 はい

今別府 どうして人を殺してはいけないのですか？

数秒の沈黙の後 ぱつつんが勢いよく手を上げる

今別府 はい君

ぱつつん だめだからです

今別府 単純すぎますね

アケミ はい！ 悲しむ人がいるからです

今別府 悲しまない人もいますね 最後は君

サッチ ……分かりません

今別府 分かりませんはなし

サッチ 分かりません そんなの誰にも分かりません！

今別府 なるほど じゃあ原口団地殺人事件の犯人であるあなたは？

アケミの肩を叩く

はどう思いますか

サッチ ……え？ 今なんて？

今別府 だから 殺人事件の犯人であるあなた 共犯者であるあなたは

はどう思いますか

ぱつつんの肩を叩く

サッチ そんなわけないじゃん 何言ってるの？

アケミ ……そうだ

サッチ アケミ？

アケミ ……お前の母親を殺したのは俺達だ(無人格に)

サッチ え？ 何…言ってるの？

ぱつつん そうだ 俺達がやった(無人格に)

サッチ 二人して何言ってるのよ(マスクを取って)

ねえ、本当なの？お母さんを殺したのは本当にあなたたちなの。

二人は背中を向ける。

ライトがサッチと今別府を包む。

今別府 今まで他人事のように思っていたんだろ？

サッチ え？

今別府 人が死ぬ、それを。

サッチ なんて…

今別府 だって、君は分からないっていったじゃないか？だから…

サッチ だから何？私のお母さんが殺されていい理由になってない！

ねえ本当なの、本当にあなた達が私のお母さんを殺したの！？

二人、舞台から去る。

サッチ 絶対に許さない！絶対に！地の果てまで追っかけてやる！

今別府 それでどうするの？

サッチ 殺してやる

今別府 それが君の正義なんだ

サッチ 正義？そんなじゃないよ 正義が何かすら分かってないのに

今別府 じゃあ 正義って何だよ 考えろよ

サッチ ・・めんどくさいめんどくさいめんどくさい そんなの考えたくない

今別府 じゃあ、どうなっても知らないよ？ たとえ隕石が降ってきても

12 隕石

音楽なり始める 緊迫感

ぱっつんとアケミはセリフを言いながら、机といすをひっくり返し不思議の国にしていく

ぱっつん 西暦2050年 人類は温暖化の加速を止めることができず全大陸の約三割が海に沈んだ

アケミ 超砂漠化現象により 残された大陸の六割は砂と化した

ぱっつん 日本は高く堤防を築き 海の進行を防いだが限界は見えていた

アケミ そして、その最悪の時起こったのがこの小惑星衝突

ぱっつん まるで怒り狂った自然が我々にとどめの一撃をくらわすかのようだった

アケミ その青い光を見ながら人々はもうこれで世界は終わっていくのだと思った

ぱっつん 絶望の空気が漂っていた ちょうどその時だった

アケミ 彼がさっそうと現れた

ぱっつん ぶかぶかの学ランたなびかせ 宇宙人みたいなマスクして

アケミ 正義の心をぎらつかせ 彼はやってきた

2人 彼の名は……ジャスティス仮面！

サツチ 何でこんな時に隕石まで降ってくんのさあ あんまりにも救がないよ

今別府 もうすぐ世界が終わる 時間がない

サツチ なにしろっての！

今別府 考えろっ！

サツチ もうすぐ終わるのに？

今別府 もうすぐ終わるからだよ

サツチ 何を考えるの

今別府 なぜ人を殺しちやいけないのか 正義とはなのか 正義はどこにあるのか！

今別府は後ろに下がり アケミとサツチが向かい合う

サツチ ・・難しいよお わかんないよお

今別府 考えろ！考えろ！考えろ！考えて考えて考え続けろっ！

サツチ うわああああ

サツチはうづくまる

間

サツチ 静かにマスクをかぶる

サツチ ……これが考えた結果

サッチとアケミはただそこに立っている

サッチ 私のお母さんは殺された 憎いんだよどうしようもなく憎いんだ…

サッチ前を向く

サッチ …でも…それでも…前を向いて生きていく

今別府 それで終わりなんだな？

サッチ これで終わり！ これで 終わり これで 終わり

今別府 終わり

サッチ お母さんは…もう帰らないのか …ああ もう救えないよ私…

サッチはマスクを外す そしてそっとアケミのマスクを外し、
抱き寄せる

しばらくの沈黙

サッチ ……これが私の正義だよ

ぱつつんも今別府もマスクをはずす。

ぱつつんと今別府がセットを元に戻し始める 教室に戻る

今別府はける

ぱつつんは二人を見守る

アケミ もう迷わないんだね…

サッチ …うん

もう一度、サッチとアケミ、抱き合う。

ぱつつん (窓の外を見たぱつつんが)あ…隕石。

サッチ きれい

ぱつつん このまま消えちゃうのかな

アケミ 嫌だね

サッチ でももうそこまで来てる

ぱつつん なんか止まって見える

アケミ 大きすぎるんだよ

サッチ 青白いね もっと生きていたかったな

アケミ うん ウチも

ぱつつん もっとヤングドーナツ食べたかったなあ

アケミ またそれ？

サッチ あははは

3人 あははは

13 応援

ぱつつんあっ！ ちょいちょい

サッチ なによ

ぱつつん あれみろよ！校庭のあれ 今別府じゃない？

サッチ ホントだ！ 後ろ姿だけど、今別府だ！

アケミ 何してんのかな？

ぱつつん おおーい 今別府ー！

アケミ だめだ全然聞こえてない

サッチ もしかしてさ あいつ隕石止める気じゃない？

ぱつつん ……はあ？

アケミ 何言ってるの あんなもん止められるわけないでしょ

サッチ いやできるかもしれない

アケミ 何だよ

サッチ だって彼 超能力者だもん

アケミ そうなの？

ぱつつん それでも無理だろ！

サッチ でもやるの！それが彼なの！

アケミ ……それがあいつの正義？

ぱつつん 生きたいと思うことが？人を救うことが？

サッチ 生きることが 彼の正義

問

サッチ がんばれー！！

アケミとぱつつんも応援し始める

3人 がんばれー！

ぱつつん 止める 今別府！

サッチ お願い！止めて

アケミ ああ、踏ん張ってる！

ぱつつん すっごい苦しそうだ

アケミ 耐えろおお！

ぱつつん やばい！押されてる！

サッチ まだまだだああ！

アケミ とばせええ！

ぱつつん いけるぞおお！

三人 あ！

サッチ 倒れた

しばらくの沈黙

ぱつつん ……あいつはがんばったよ

アケミ しかたないね

ぱつつん ……

アケミ ……

サッチ まだだ

二人 え？

サッチ まだ終わってない！

アケミ でも…!!

サッチ 立てええええええええ！ ジャスティス仮面…！！

間

ぱつつん サッチ：

サッチ 立って、立って、考えろよ…！私は間違っていないって言ってよ…！

生きることは間違っていないって言ってよ…！

アケミ …がんばれえええ！

サッチ ジャスティス仮面…！！（渾身）

ぱつつん おっ さっきより押ししてる！

サッチ いっけええええ！

14 エピローグ

隕石の音(飛行機の音とかいいかも)

サッチ 地球に隕石が降ったことを覚えている

アケミ 何処にも載ってない、初めて見た景色

ぱつつん とてもきれいだった

サッチ 全てが輝いて見えて

アケミ 笑い合っていたのを今でも思い出せる

ぱつつん 苦しかった…

アケミ 辛かった…

サッチ 1人だった…

3人 それでも

サッチ 前を向いて歩み始めた私がある 後悔なんてない

間

サッチ でも少しだけ…考えなくてはいけないらしい

ぱつつん 過去は無くならない

アケミ 変えることなんてできない

ぱつつん でも瞬く間に過ぎ去って行く日々

アケミ ただ前を向いて生きてゆく

サッチ 過去と向き合うこと、未来を見ることが。

アケミ そして大人になること

サッチ それでもいろんなことを忘れてしまう

ぱつつん でもそれは思い出せないだけだ

サッチ 彼が言っていた

アケミ ぶかぶかの学ランで

ぱつつん 宇宙人みたいなマスクして

サッチ 星が流れる街中を

アケミ ただ歩いて行った

サッチ そいつ誰？

アケミ 彼の名は
ぱっつん 彼の名は
サッチ 彼の名は
3人 ジャステイス仮面!!☒

幕